

-連携部会活動概要-

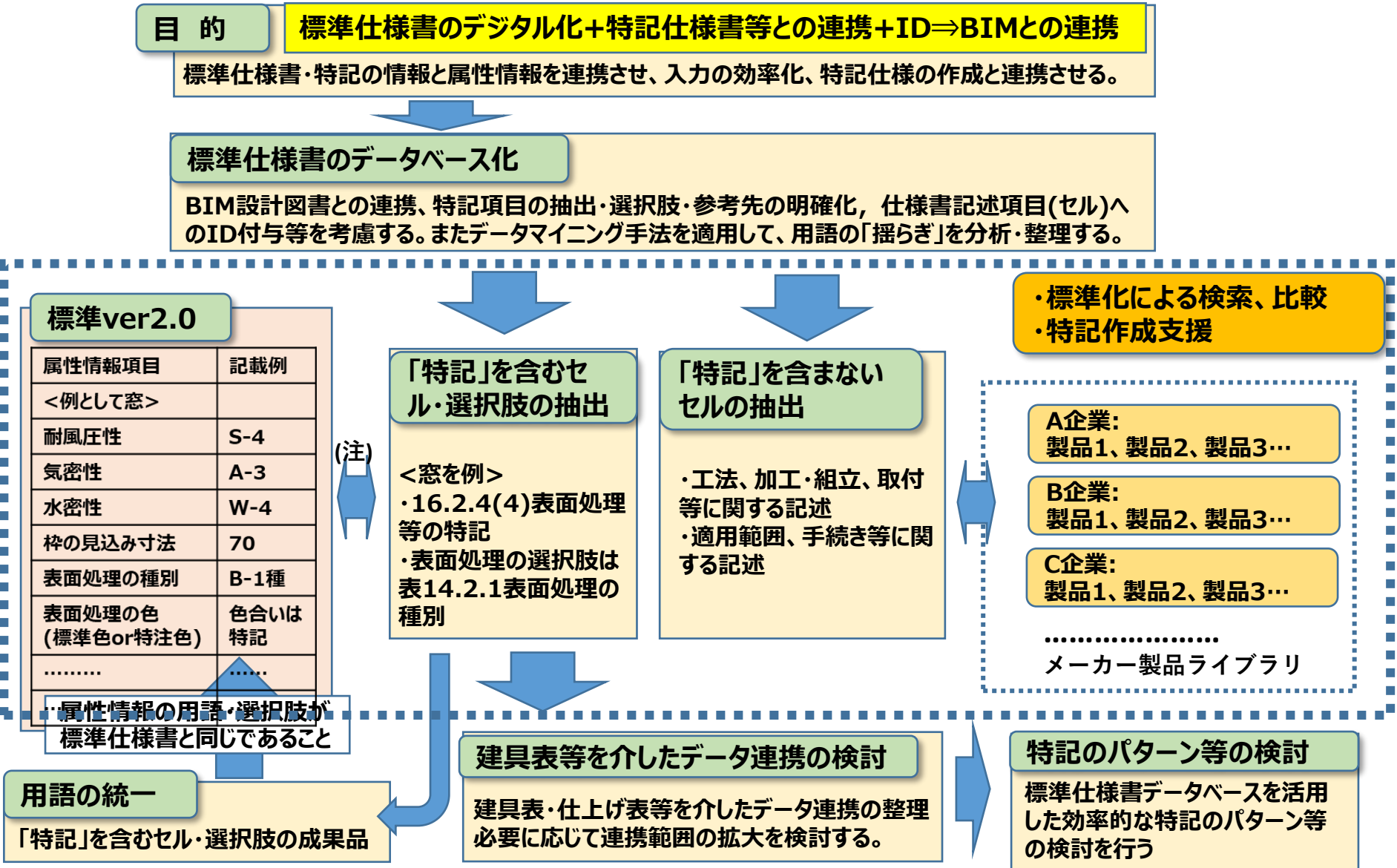
2021/10/28

BLCJ

第2回部会以降の活動内容

日にち	会議種別	検討内容
8/27	国交省説明	国交省に標準仕様書のデジタル化説明(建築) (設備は同じ資料を配布)
8/31	国交省から連絡	国交省からWORD(31年版)の利用許諾、設備は後日許諾の連絡
9/2	福井CA打合せ	建具表・仕上表等を介したBIMとの情報連携の検討案の作成 により、福井CAと打合せ、見積依頼
9/13	公共建築協会打合せ	現状説明
9/17	連携コア会議⑥	現状を踏まえ、方針検討
9/24		標準仕様書の整理フォーマットの修正・確定
10/4	連携コア会議⑦	建築研究所からの委託業務内容の確認・修正等
10/20	連携コア会議⑧	第3回部会資料検討 仕様書関係作業報告

標準仕様書デジタル化とBIMオブジェクト標準ver2.0等との関係



(注)：特記する事項は属性情報に含まれる必要がある。

公共建築工事標準仕様書(建築工事編)の章別の検討優先度の整理

章	章のタイトル		ページ	セル	特記	参照
1	各章共通事項	③	14			
2	仮設工事	③	2			
3	土工事	－	3			
4	地業工事	－	13			
5	鉄筋工事	②	14	済		
6	コンクリート工事	②	33	済		
7	鉄骨工事	②	27	済		
8	コンクリートブロック、ALCパネル及び押出成形セメント板工事	③	12			
9	防水工事	③	26			
10	石工事	③	15			
11	タイル工事	③	11			
12	木工事	③	12			
13	屋根及びとい工事	③	9			
14	金属工事	①	10	済		

章	章のタイトル		ページ	セル	特記	参照
15	左官工事	①	23	済		
16	建具工事	①	37	済	△	△
17	カーテンウォール工事	③	8			
18	塗装工事	①	24	済		
19	内装工事	①	23	済		
20	ユニット及びその他の工事	③	10			
21	排水工事	－	4			
22	舗装工事	－	25			
23	植栽及び屋上緑化工事	－	10			
下線の項目はDB化済み						
①：優先度が特に高い：117P(DBか済み60P、残り57P) 32%						
②：優先度が高い：74P(DBか済み27P、残り47P) 20%						
③：優先度は普通：119P(DBか済み10P、残り109P) 33%						
－：作業なし(BIMのオブジェクト化をしない)：55P 15%						

注：
セル：word→excelのセルに整理
特記：特記項目の選択肢がある場合は選択肢を記載
参照：特記を記載する際に必要な監理指針の参照先を記載

◎標準的
○時々
△マレら
—不採用

公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)の章別の検討優先度の整理

編-章	編、章のタイトル	優先度	ページ	セル	特記	参照
1	一般共通事項	—	20	済		
1-1	一般事項	—		済		
2	共通工事	—	87	済		
2-1	一般事項	—		済		
2-2	配管工事	◎		済		
2-3	保温、塗装及び防錆工事	◎		済		
2-4	関連工事	×		済		
3	空気調和設備工事	◎	102	済		
3-1	機材	◎		済		
3-2	施工	◎		済		
4	自動制御設備工事	◎	30			
4-1	機材	◎				
4-2	施工	◎				
5	給排水衛生設備工事	◎	48	済		
5-1	機材	◎		済		
5-2	施工	◎		済		
6	ガス設備工事	◎	14			
6-1	一般事項	—				
6-2	都市ガス設備	◎				
6-3	液化石油ガス設備	◎				

編-章	編、章のタイトル	優先度	ページ	セル	特記	参照
7	さく井設備工事	×	6			
7-1	一般事項	—				
7-2	揚水井設備	×				
7-3	地中熱交換井設備	×				
8	浄化槽設備工事	△	20			
8-1	一般事項	—				
8-2	現場施工型浄化槽	△				
8-3	ユニット型浄化槽	△	27			
9	昇降機設備工事	◎				
9-1	一般事項	—				
9-2	一般エレベーター	○				
9-3	普及型エレベーター	◎				
9-4	非常用エレベーター	△				
9-5	小荷物専用昇降機	×	8			
9-6	エスカレーター	×				
10	機械式駐車設備工事	△				
10-1	一般事項	—				
10-2	二段方式機械式駐車装置	△				
11	医療ガス設備工事	×	36			
11-1	一般事項	-				
11-2	医療ガス設備工事	×				

公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)の章別の検討優先度の整理

編-章	編、章のタイトル	優先度	ページ	セル	特記	参照
1	一般共通事項	○	24	済		
1-1	一般事項	○		済		
1-2	共通工事	○		済		
2	電力設備工事	○	106	済		
2-1	機材	○		済		
2-2	施工	○		済		
3	受変電設備工事	○	60	済		
3-1	機材	○		済		
3-2	施工	○		済		
4	電力貯蔵設備工事	○	40	済		
4-1	総則	○		済		
4-2	機材	○		済		
4-3	施工	○		済		
5	発電設備工事	○	80	済		
5-1	機材	○		済		
5-2	施工	○		済		
6	通信・情報設備工事	△	124	済		
6-1	機材	△		済		
6-2	施工	△		済		

編-章	編、章のタイトル	優先度	ページ	セル	特記	参照
7	中央監視制御設備工事	○	18	済		
7-1	機材	○		済		
7-2	施工	○		済		
8	医療関係設備工事	△	17	済		
8-1	一般事項	△		済		
8-2	非接地電源用分電盤等	△		済		
8-3	ナースコール設備	△		済		
○:主要な機器であり、仕様頻度が高い △:機器が多種に及びあるいは仕様頻度が低い						

標準仕様書のデジタル化等-成果品イメージ

Uniclass2015 コード	仕様書の章節項 のコード
---------------------	-----------------



公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版 16章 建具工事									
ページ	章	節	項	番号	カナ	abc	○数	本文	
	16	1	3	(1)				防火戸の指定は、特記による。	
	16	1	3	(3)				防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸について、ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器と連動させる場合は、特記による。 なお、防煙シャッターの場合は、煙感知器と連動するものとする。	
	16	1	4	(1)				建具見本の製作は、特記による。	
	16	1	4	(2)	(ア)			仮組の実施は、特記による。	
	16	1	6	(2)				開口部の侵入防止対策上有効な措置が講じられた「防犯建物部品」の適用は、特記による。	
	16	2	2	(2)	(ア)			耐風圧性、気密性及び水密性の等級並びに枠の見込み寸法は、特記による。特記がなければ、外部に面する建具をコンクリート系下地又は鉄骨下地に取り付ける場合は、表16.2.1、木下地に取り付ける場合は、表16.2.2により、種別は特記による。	
	16	2	2	(2)	(イ)			防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級は、特記による。	
	16	2	2	(2)	(ウ)			断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級は、特記による。	
	16	2	2	(2)	(エ)			耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級は、特記による。	
	16	2	3	(5)	(イ)			防虫網は、合成樹脂製、ガラス繊維入り合成樹脂製又はステンレス（SUS316）製とし、材質、径径及び網目は特記による。特記がなければ、合成樹脂製とし、合成樹脂の網目は0.25mm以上、網目は16～18メッシュとする。	
	16	2	3	(5)	(ウ)			防鳥網は、ステンレス（SUS304）線材、線径は1.5mm、網目寸法は15mmとし、適用は特記による。	
	16	2	4	(2)				建具の枠の見込み寸法は、特記による。特記がなければ、外部に面する建具は、表16.2.1又は表16.2.2による。	
	16	2	4	(4)				アルミニウムの表面処理は14.2.2〔アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理〕により、種別、標準色・特注色の別等は特記による。 なお、溶接する箇所は、原則として、溶接後に表面処理を行う。	
	16	2	4	(7)				結露水の処理方法は、特記による。	
	16	2	5	(1)	(ウ)			水切り板、ぜん板等は、特記による。	
	16	2	5	(2)	(ウ)	(b)	④	内付け建具は、建具の製造所の仕様により、適用は特記による。	
	16	3	2	(2)	(ア)			耐風圧性、気密性及び水密性の等級並びに枠の見込み寸法は、特記による。特記がなければ、外部に面する建具をコンクリート系下地又は鉄骨下地に取り付ける場合は、表16.3.1、木下地に取り付ける場合は、表16.3.2により、種別は特記による。	
207	16	3	2	(2)	(イ)			防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級は、特記による。特記がなければ、外部に面する建具は表16.3.3により、種別は特記による。	
	16	3	2	(2)	(ウ)			断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級は、特記による。特記がなければ、外部に面する建具は表16.3.4により、種別は特記による。	
	16	3	3	(7)				ガラスは、特記による。特記がなければ、複層ガラスとする。	
	16	3	4	(2)				建具の枠の見込み寸法は、特記による。	
	16	3	4	(6)				表面色は、標準色又は特注色とし、適用は特記による。	
	16	4	2	(2)	(ア)			簡易気密型ドアセットの気密性、水密性の等級は、表16.4.1により、適用は特記による。 なお、外部に面する鋼製建具の耐風圧性は表16.2.1により、等級は特記による。	
	16	4	4	(1)				鋼板の厚さは、特記による。特記がなければ、片開き、親子開き及び両開き戸の1枚の戸の有効開口幅が950mm又は有効高さが2,400mmを超える場合を除き、表16.4.2による。	
	16	5	2	(2)	(ア)			簡易気密型ドアセットの気密性の等級はA～3とし、適用は特記による。	
	16	5	3	(1)				鋼板類は、次により、種類は特記による。	
212	16	5	3	(5)				召合せ、縦小口包み板等の材質は、鋼板、ステンレス鋼板又はアルミニウム合金の押出材と	

標準仕様書のデジタル化等-成果品と用語の統一

章節 項等	標準仕様書本文(特記するを含むセル)	特記する				特記する。特記がなければ●とする。				参照先
		特記1	標準1	特記2	標準2	特記1	標準1	特記2	標準2	
16.2.4(4) 形状 および 仕上	アルミニウムの表面処理は14.2.2 [アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理] により、 種別、標準色・特注色の別等は特記による。 なお、溶接する箇所は、原則として、溶接後に表面処理を行う。	表面処理 の種別	AB-1種 AB-2種 AC-1種 AC-2種 …… C種	色	標準色 特注色 []					

表14.2.1 表面処理の種別

種 別	表面処理	J I S		
		規格番号	規 格 名 称	皮膜又は複合皮膜の種類
AB-1種	無着色陽極酸化皮膜	JIS H 8601	アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜	AA15
AB-2種	着色陽極酸化皮膜			
AC-1種	無着色陽極酸化皮膜			AA6
AC-2種	着色陽極酸化皮膜			
BA-1種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	JIS H 8602	アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合皮膜	A2 (過酷な環境の屋外)
BA-2種	着色陽極酸化塗装複合皮膜			
BB-1種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜			B (一般的な環境の屋外)
BB-2種	着色陽極酸化塗装複合皮膜			
BC-1種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜			C (屋内)
BC-2種	着色陽極酸化塗装複合皮膜			
C 種	化成皮膜の上に塗装 ^(注)	JIS H 4001	アルミニウム及びアルミニウム合金の焼付け塗装板及び条	—

(注) 常温乾燥形の塗装の場合は、特記による。

標準仕様書のデジタル化等-成果品と用語の統一

章節 項等	標準仕様書本文(特記するを含むセル)	特記する				特記する。特記がなければ●とする。				参照先
		特記1	標準1	特記2	標準2	特記1	標準1	特記2	標準2	
16.2.4(2) 形状及び仕上げ	建具の 枠の見込み寸法は、特記による 。特記がなければ、外部に面する建具は、表16.2.1又は表16.2.2による	枠の見込み寸法				枠の見込み寸法	表16.2.1又は表16.2.2			

表16.2.1 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級等
(コンクリート系下地及び鉄骨下地)

性能項目 種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法 (mm)
A 種	S-4	A-3	W-4	70 (注)
B 種	S-5			
C 種	S-6	A-4	W-5	特記による

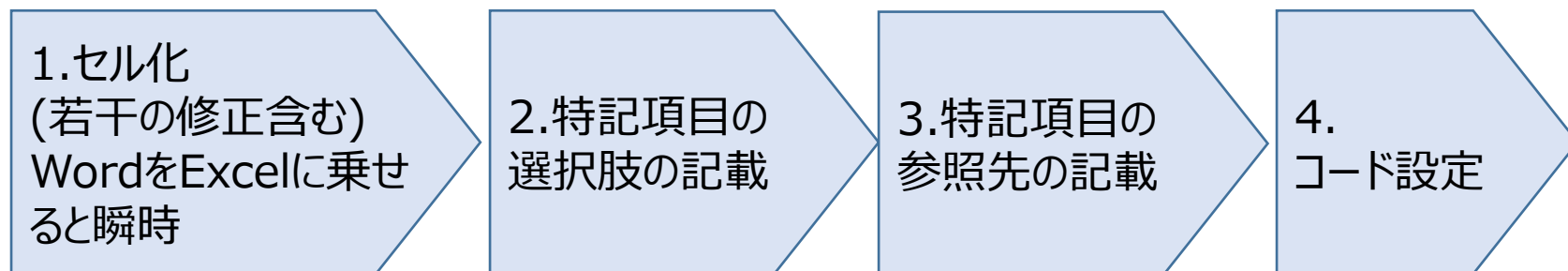
(注) 形式が引違い・片引き・上げ下げ窓で、複層ガラスを使用する場合は、
枠の見込み100mmとする。

表16.2.2 外部に面するアルミニウム製建具の性能等級 (木下地)

性能項目 種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法 (mm)
D 種	S-2	A-3	W-3	特記による
E 種	S-3	A-3	W-3	特記による

作業スケジュール想定

1.作業手順



2.作業方法

上記の「セル化」作業を、①プログラムを組んで半自動化で行う方法、②WordをExcelに乗せる人的作業による方法を比較した。その結果、①のプログラムの場合、アウトプットを人的作業で修正するプロセスが必要で、これは②の人的作業と同じ内容、同じ作業量のため、プログラム作成に必要な2か月作業が伸びるため、今回は②の人的作業による方法とした。

3.想定作業期間

仕様書の種類	ページ数	着手時期	1.セル化	2.特記	3.参照先	4.コード	2.までの主要部完成 想定	全体 完成 想定
建築工事	365P	9月初め	1ヶ月	2ヶ月～	2ヶ月～	1ヶ月	11月 建具のみ	22/2月
電気設備工事	400P	11月初め	1ヶ月	2ヶ月～	2ヶ月～	1ヶ月	12月末	22/4月
機械設備工事	400P	10月初め	1ヶ月	2ヶ月～	2ヶ月～	1ヶ月	12月末	22/3月

連携部会スケジュール

